

(公財) 日本リウマチ財団登録理学療法士・作業療法士研修カリキュラム

【教育（課程）目標】

医療機関の実践現場においてリウマチ性疾患ケアチームのメンバーや地域医療におけるリウマチ性疾患リハビリテーションを提供する理学療法士・作業療法士として、倫理観を有し、必要とされる知識や技術を備え、患者や家族および他の医療職、国民から信頼されるリウマチ性疾患リハビリテーションに精通した理学療法士・作業療法士を育成する。

【一般目標】

医師の指示のもと、適切な評価を行い、他の医療職と連携・協働して理学療法士・作業療法士の視点から質の高いリウマチ性疾患の理学療法、作業療法の実践・指導できる。

【到達目標（行動目標）】

- 1) リウマチ性疾患リハビリテーションに対して、理学療法、作業療法に関する専門的知識をもとに、高度に熟練した理学療法・作業療法の提供と指導ができる。
- 2) 患者の個別性に配慮し、適切な臨床情報に基づいて、安全・安心・安楽なリウマチ性疾患の理学療法・作業療法を提供できる。
- 3) 医師、看護師、理学療法士・作業療法士、介護職、福祉関係者、介護支援専門員等と連携をとり、リウマチ性疾患理学療法、作業療法を実践できる。またリウマチ性疾患理学療法、作業療法に関する教育・指導・相談に応じることができる。

*リウマチ性疾患ケアとは、高い倫理性と専門的な知識・技術を備え、同僚に対する指導・相談を通し、他の医療職と連携・協働して安全・安心の治療とよりよい療養の継続を支える活動をいう。リウマチ性疾患ケアの対象は関節リウマチ性疾患のみならず、広くリウマチ性疾患すべての患者を対象とする。

単位取得期間：5年

対象・資格：理学療法士・作業療法士

修得科目は以下3つの領域からなり、習得すべき教育研修単位は20単位以上とする。

- 1) 医療における専門職業人としての倫理観や責任感を養う。
- 2) リウマチ性疾患理学療法・作業療法に必要な知識や技術を深める。
- 3) リウマチ性疾患ケアチームの一員として、あるいは地域の理学療法士・作業療法士としてリウマチ性疾患リハビリテーションを円滑にかつ安全に遂行できる能力を養う。

【参考】別添のコード番号一覧表において、理学療法士と作業療法士は別建てとなっております、

「大項目」と「中項目」は共通で、異なるのは「小項目」以降です。「教育研修単位認定申請」をされる場合の登録理学療法士・作業療法士のカリキュラムコードの記載は、「中項目」の番号を記載することになりますので同じコード番号となります。従って、申請書では「理学・作業療法士」として、共通の中項目コードを記載していただきますようお願いいたします。

【理学療法士】

リウマチ性疾患における理学療法の教育研修科目の内容と取得単位

大項目	中項目	小項目	講義内容
I. 医療における専門職業人としての倫理観・責任感 カリキュラムコード 1 :合計 2 単位	1-1 医療倫理 (1 単位)	1) 人権と倫理	人権、尊厳の理解 医療倫理、理学・作業療法士倫理
		2) 倫理問題への対処	①診断・治療・ケアに伴う倫理諸問題 ②患者の意思決定支援
	1-2 コミュニケーション(1 単位)		
II. リウマチ性疾患における理学療法に必要な知識・技術 カリキュラムコード 2 :合計 14 単位	2-1 疾患と治療の理解 (4 単位)	1) 診断	疫学、検査、病態生理学、重症度・病期分類
		2) 治療	最新の治療、治療目標 薬物療法、外科的治療 理学療法（関節可動域運動、筋力増強運動、持久力運動、物理療法） 日常生活活動量の管理 患者、家族指導、物理的環境の相談、指導、福祉用具・自助具
		3) 環境調整	
	2-2 リウマチ性疾患に関する理解 (1 単位)	1) 関節リウマチと膠原病・類縁疾患の理解	疾患の特徴 注意事項 炎症・疼痛のメカニズム 理学療法・作業療法の介入方法と効果
		2) 脊椎関節炎と類縁疾患の理解	
		3) 自己免疫疾患の理解	
		4) 血管炎の理解	
		5) 変形性関節症	
		6) 感染性関節炎	
		7) 結晶誘発性関節症の理解	
8) 全身性疾患に伴う関節炎			
9) 骨疾患			
10) 痛みの生理学			
11) その他疾患			
12) 加齢、終末期			
13) 活動			
14) 参加			
2-3 リウマチ性疾患に対する理学療法の実践 (1 単位)	1) 理学療法の評価 2) 理学療法の実技 3) 理学療法の効果 4) アウトカム評価	理学療法実施上のポイント:評価、介入時期、実施方法、注意点、物理療法、運動療法、患者教育、自助具、福祉用具、住宅改修の知識と技術、理学療法成果のアウトカム	
2-4 公的社会保障制度・社会福祉 (1 単位)			
2-5 その他 (1 単位)	1) 訪問リハビリテーション 2) 災害時リウマチ性疾患患者・家族支援		

		<p>3)学会・研究会等における発表、論文掲載(筆頭・共同研究)を含む</p> <p>4)医療機器開発・研究・試験</p>
<p>Ⅲ. リウマチ性疾患ケアチームの一員、あるいは地域の理学療法士として業務を円滑に遂行できる能力</p> <p>カリキュラムコード 3</p> <p>:合計 4 単位</p>	<p>3-1 チームアプローチ (1 単位)</p>	<p>1)チーム連携・協働における理学療法士・作業療法士の役割</p> <p>チーム力の効果的な活用方法</p>
		<p>2)急性期・回復期・維持期における継続的理学療法・作業療法における支援や指導方法</p>
		<p>3)地域医療、地域連携のあり方</p>
		<p>4)地域医療計画・地域包括ケアシステムの理解</p>
		<p>5)地域リハビリテーション活動支援(介護予防事業・ケア会議への参画)</p>
	<p>3-2 医療安全(1 単位)</p>	
	<p>3-3 リーダーシップ(1 単位)</p>	
<p>3-4 コンサルテーション(1 単位)</p>		

【作業療法士】 リウマチ性疾患における作業療法の教育研修科目の内容と取得単位

大項目	中項目	小項目	講義内容
I. 医療における専門職業人としての倫理観・責任感 カリキュラムコード 1 :合計 2 単位	1-1 医療倫理 (1 単位)	1) 人権と倫理	人権、尊厳の理解 医療倫理、理学・作業療法士倫理
		2) 倫理問題への対処	①診断・治療・ケアに伴う倫理諸問題 ②患者の意思決定支援
	1-2 コミュニケーション(1 単位)		
II. リウマチ性疾患における作業療法に必要な知識・技術 カリキュラムコード 2 :合計 14 単位	2-1 疾患と治療の理解 (4 単位)	1) 診断	疫学、検査、病態生理学、重症度・病期分類
		2) 治療	最新の治療、治療目標 薬物療法、外科的治療
		3) 環境調整	患者、家族指導、物理的環境の相談、指導、福祉用具・自助具
	2-2 リウマチ性疾患に関する理解 (1 単位)	1) 関節リウマチと膠原病・類縁疾患の理解	疾患の特徴 注意事項
		2) 脊椎関節炎と類縁疾患の理解	炎症・疼痛のメカニズム 理学療法・作業療法の介入方法と効果
		3) 自己免疫疾患の理解	
		4) 血管炎の理解	
		5) 変形性関節症	
		6) 感染性関節炎	
		7) 結晶誘発性関節症の理解	
8) 全身性疾患に伴う関節炎			
9) 骨疾患			
10) 痛みの生理学			
11) その他疾患			
12) 加齢、終末期			
13) 活動			
14) 参加			
2-3 リウマチ性疾患に対する作業療法の実践 (1 単位)	1) 作業療法の評価 2) 作業療法の実技 3) 作業療法の効果 4) 住環境整備	作業療法実施上のポイント:評価、介入時期、実施方法、注意点、触診術、運動療法、スプリント療法、自助具、福祉用具、住宅改修の知識と技術	
2-4 公的社会保障制度・社会福祉 (1 単位)			
2-5 その他 (1 単位)	1) 訪問リハビリテーション 2) 地域リハビリテーション活動支援事業(介護予防・ケア会議) 3) 災害時リウマチ性疾患患者支援 4) 学会・研究会等における発表、論文掲載(筆頭・共同研究)を含む		

		5)医療機器開発・研究・試験
Ⅲ. リウマチ性疾患ケアチームの一員、あるいは地域の作業療法士として業務を円滑に遂行できる能力 カリキュラムコード 3 :合計 4 単位	3-1 チームアプローチ (1 単位)	1)チーム連携・協働における理学療法士・作業療法士の役割 チーム力の効果的な活用方法
		2)急性期・回復期・維持期における継続的理学療法・作業療法における支援や指導方法
		3)地域医療、地域連携のあり方
		4)地域医療計画・地域包括ケアシステムの理解
		5)地域リハビリテーション活動支援(介護予防事業・ケア会議への参画)
	3-2 医療安全(1 単位)	
	3-3 リーダーシップ(1 単位)	
	3-4 コンサルテーション(1 単位)	